

## 第 2 回輪島市本庁舎等整備審議会

開催日時	平成 30 年 1 月 26 日（金） 10:00～11:30
開催場所	輪島市役所 4 階 第 2 会議室
出席者氏名	<p>○審議会委員 10 名 谷口寛会長、高野哲男副会長、里谷光弘委員、山本利治氏（前田義則委員代理）、日南尚之委員、上畠忠雄委員、元井孝司委員、山市新太郎委員、前野智美委員、大工利彦委員</p> <p>○事務局 4 名 総務部長 宮坂雅之、本庁舎等整備室長 定見充雄、教育委員会庶務課主幹 宇羅良博、本庁舎等整備室整備係長 田中洋子</p> <p>○アドバイザー 1 名 株式会社計画情報研究所</p>
欠席者氏名	小谷眞知子委員、七浦正一委員
議 題	<p>(1) 他市町の状況 について</p> <p>(2) 事業費等について</p> <p>(3) 財源について</p>
会議内容	別紙のとおり
会議資料	<p>(資料 1) 第 2 回審議会資料 (他市町の状況 について、事業費等について、財源について)</p> <p>(資料 2, 3) 本庁舎及び文化会館改修計画(案)平面図</p> <p>(参考資料 1) 輪島市本庁舎等整備審議会委員名簿</p> <p>(参考資料 2) 庁内検討委員会による検討案</p>

## ■会議内容

### 1. 事務局からの報告事項

- ・欠席委員（2名）及び委員の代理出席(1名)の報告について  
小谷委員、七浦委員の欠席及び前田委員の代理で山本氏が出席したことを報告
- ・委員の辞任及び委嘱について  
宮下委員及び沢田委員より辞任願があり承認した旨並びに宮下委員の後任として山市氏に委員の委嘱をしたことを報告。

### 2. 開会

### 3. 前回の質問事項について

前回質問のあった「耐震診断の方法は静的診断か、動的診断か」について、静的診断であった旨を回答。

### 4. 議題（進行：会長）

#### 議事（1） 他市町の状況 について

- 事務局より「資料1-(イ)及び(ロ)」について説明。
  - ・能登地区の庁舎及び図書館の状況について

#### 議事（2） 事業費等について

- 事務局より「資料2-(イ)及び(ロ)-①」について説明。
  - ・人口10万人以下の市町における近年の庁舎新築の延床面積や本体工事費の事例について
  - ・耐震改修の3種類の方法（耐震補強、制震補強、免震補強）の概要について
- ・改修時の増築について
  - （事務局）耐震補強と制震補強は、もともと庁舎内の執務スペースが手狭な中で、更に床面積が減少するので、増築が必要となる可能性がある。
  - （委員）人口減少と自治体の規模が小さくなる確率が高い中、増築は必要か。
  - （事務局）現在の本庁舎には、本来入るべき教育委員会などが入っていないことも踏まえて考えていかなければいけない。
- ・執務室等の面積について
  - （委員）国等の基準で計算した場合、輪島市の組織と人数では、理想的な面積はどのくらいになるのか。
  - （事務局）昨年度に庁内検討委員会で算出した面積は、事務室だけで（倉庫や車庫等を除いて）6,650㎡である。
  - （会長）シミュレーションする場合は、面積が重要なので、その辺の資料も次回提出して欲しい。

■事務局より「資料 2- (口) -②及び③」について説明。

- ・一般的な耐震補強により、庁舎及び文化会館を改修した場合の概要について
- ・耐震改修の概算事業費について
  - (委 員) 資料に記載されている概算事業費は、精度としてどの程度なのか。
  - (事務局) 積算は、積み上げ方式である。図面を引いて補強箇所を出し、それについて 1 カ所当たり例えば PC フレームがいくらという単価があるので、その積み上げで概算事業費を出している。
- ・既設改修工事費について
  - (委 員) 既設改修工事費は、耐震改修に伴うものか。もしくは耐震改修に併せて全体を改修するためのものか。
  - (事務局) 耐震補強に伴う改修工事費用と、耐震補強に併せて設備工事や電気工事などのやり替え等のリニューアル工事の費用が含まれている。
  - (委 員) 耐震改修を行えば、あと何年、建物が持つことになるのか。
  - (会 長) 躯体が 70 年持つとしたら、70 年しか持たない(例えば庁舎の場合、あと 22 年しか持たない)と考えた方が適当であろう。
  - (委 員) 文化会館改修の概算事業費に音響設備は入れていないと言っていたが、音響設備を改修するとどのくらい増額となるのか。
  - (事務局) 音響設備は設備の程度によって、かなりの違いがあるため、どの程度の設備を設置するかによる。

議事 (3)

財源について

■事務局より「資料 3」について説明。

- ・庁舎及び文化会館を整備する場合、活用可能な財源について
- ・財源も含めた概算事業費について
  - (委 員) 財源確保について、もう少し分かりやすく、例えば改修すると 15 億円で、新築すると 20 億円かかるが、財源を確保すると市の負担は改修では 1 億円、新築では 0.5 億円になる、というレベルで出してもらった方が判断しやすい。
  - (会 長) 一つは、面積をある程度設定して、耐震改修の場合はいくら、それで市の負担はどれくらいか、また新築した場合には、市の負担はどれくらいになるのか。もう一つは、耐震改修して、建物が長持ちするのかもしれないのか、という二つの議論をして判断しないといけない。
  - (事務局) 費用の面は、一番肝心なところだと思う。非常に微妙な部分で、こういう資料があったけど、実際やったら高かったという話にならないようにしなければならぬ。
  - (会 長) 資料を出すときの規模、金額について、本体工事費だけではなく、全体事業費で考えないと、後で倍になったという話になりかねない。
  - (委 員) 仮設庁舎が必要になったり、新たに駐車場が必要など、それも含めての事業費が必要だ。
  - (会 長) 全体事業費があまり高いと、選択しない、という判断もある。
  - (委 員) 文化会館の音響設備改修事業費についても参考に算出していただきたい。

## 5. その他について

事務局より、平成 28 年度に職員による検討した概要（参考資料 2）について説明。

・職員の場合は参考であり、皆さまから幅広いご意見をいただき、考え得るあらゆる可能性について検討をしたい。

### ・意見交換

(委員) 輪島高校を旧実業高校の校舎に移すという案はあるのか。

(事務局) 元高校があったので、そこへ輪島高校に移ってもらい、高校跡地に庁舎が入ると、文化会館も近く、駐車スペースも確保できる。そういった極端な発想も実現可能かどうかを含めて検討出来ればと思う。

(委員) 輪島高校は、現在の位置が一番よい。県内の高校であれだけ利便性がある高校というのはあまりない。

(委員) だいぶ前に輪島高校の移転という案があり、市が土地を準備したら移転するという話だった。しかし、高校が第 2 体育館を建てたら現在の位置から動けなくなった、といういきさつがあった。

(委員) 高校は、山の上よりも、利便性があり、住民の方に見守られている場所がよいと思う。

(委員) しかし、生産性のない建物を町の真ん中に置いておくのももったいないとも思う。

(委員) 資料の枠内は、全て市の所有か。

(事務局) 輪島高校以外は市の所有です。

(会長) 図面について、例えば文化会館は周辺の土地を市が購入し、資料の図面よりも大きな敷地となっているので、それも含め提示をしてほしい。また、新たな用地についても検討してほしい。

(委員) 旧上野台中の面積は魅力だ。ここに庁舎が建つと、門前や町野、三井から集まりやすくなる。市街地からの道路がもう 1 本必要だということもあるが、それはあってもよいと思う。仮庁舎も建てなくて良いことになる。

(会長) 消防庁舎の駐車場が利用出来れば今の消防庁舎の向かいに建てるのも一つの案かと思う。新しい場所についても今の段階で排除せず、検討してもよいのではないかと。それより耐震補強をするかしないかの検討が大切だ。文化会館の耐震補強は結構大がかりなので、その辺もどうするか詰めていかないといけない。

(事務局) 文化会館については、減築する案もあったが、減築の工事は難しいのではないかと意見も庁内の検討委員会であった。

(会長) やってなれない工法ではないので、検討する余地はある。

(会長) 検討していく上で、パターンをまとめてもらえば選びやすくなるのではないかと。出来ないものは出来ないかと詰めていかないといつまでも議論にならない。段階的にやっていきたい。

## 6. 閉会

以上